

2022年度 第3回 CSR 委員会 議事録

- 【日 時】 2022年9月27日(火) 13:30 ~ 17:00
【会 場】 ハイブリッド会議(日本代協 事務局会議室、Zoom)
【出席者】 大城委員長

北海道	池田	北東北	近藤	南東北	酒井	上信越	鈴木
東関東	河合	南関東	吉野	東京	小野	東海	生川
北陸	三上	近畿	森井	阪神	西川	東中国	山田
西中国	田坂	四国	杉友	九州北	三浦	九州南	植村

- 【オブザーブ】 横山副会長
【事務局】 大谷部長 【司会】 副委員長 【議事録】 事務局

【委員会の要旨(確認、決定したこと)】

1. 全都道府県のぼうさい探検隊 三冠王項目目標達成。
2. ぼうさい探検隊のタブレット貸出が殺到しているため、これからの申込注意。
(11/4 締切を過ぎると、今年度のカウントにならない旨ブロック内に共有)
3. ぼうさい探検隊の年間取組みスケジュール作成(次年度に向けて)。
4. ぼうさい探検隊の参加賞はウエットティッシュに決定。
5. direct に活動報告(情報共有)をアップする際は、極力写真やツールも添付する。

議 事

. 挨拶

1. 大城委員長挨拶

- ・最近では自然災害や台風が増えてきたと実感している。被害に遭われた方へお見舞いを申し上げると共に、一刻も早くもとの生活に戻れることを祈念している。
- ・昨今の台風はこれまでと違い勢力を保ったまま本土に上陸するなど益々災害が大きくなってしまおうと思われるが、我々が行っている活動は災害から命を守るために効果が発揮できるものであり、CSR 委員会の役割も一層大きくなっているとも感じている。
- ・6月に委員長を拝命してから、CSR 委員会の意義やぼうさい探検隊等は良い取組みではあると思っはいるが、他の委員会や役員を含めた他の会員を巻き込んでいくことの難しさを実感している。全員が同意して行動に移してもらうことはできないが、中にはこの活動をしたかったという会員もいると思うので委員会としてそこに情報がしっかり届くようにしていきたい。
- ・目標があって、それに向かって義務感で行動するのは違うのではないかと感じていて「やらないといけない」ではなく「やりたい」というポジティブな気持ちで取組んでいけるようなツールや情報伝達の方法も整備していきたい。
- ・我々の活動は消費者だけでなく会員にも需要があると思うので、自信をもって進めていきたい。この場(委員会)においては正解も不正解もないので、どんどん発言していただき、全員でブラッシュアップしていきたい。本日も活発な論議をお願いしたい。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

. 報告事項

1. 報告事項

- (1) 第4回 理事会報告

事務局より、配布した第4回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下補足をした。

- ・審議事項「2022年度表彰者の選定」「第11回コンベンション企画案」「損保大学課程コンサルティングコース(2023年4月開校予定)受講者募集のブロック別目標数」「日本代協アカデミーの改定の方向性」「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023への協賛」につき審議が行われ承認された。
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員会委員長より報告があった。

(2) 第2回全国会長懇談会報告

事務局より、配布した第2回会長懇談会次第の内容に沿って説明が行われた。

大城委員長より、グループディスカッションについて下記補足があった。

- ・「伝わってますか？会員さんへ。代協の価値、最新の情報。我が代協の伝達方法、仕組みを見つめ直して、組織活動も活性化！」をテーマにディスカッションを行った。
- ・総じて、情報を伝えるのは難しく、全会員へとなるとさらに難しいことであり苦労しているとのことであった。
- ・どのような手段で伝えていけばいいのかという議論になったが、効果的な方法が無くメールや電話入れを行っているという意見がほとんどであった。ただ、メール送信には十分気を付ける必要があるという認識があり、デジタルの時代ではあるがFAXによる情報の伝達が早いという意見もあった。
- ・伝える側が役に立つ情報、興味が湧く情報を提供できるような工夫も必要であるとの意見もあった。

(3) 2021年度第1回「活力研」報告

事務局より、721に開催された「活力研」について報告が行われ、以下補足をした。

- ・今回は、「正会員実態調査結果による、代手ポイント変動のチャンネル分析」「火災保険基準代手率変更に関する対応」「ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店のコミュニケーションギャップの解消を考える」の3つのテーマで論議した。日本代協HP会員専用書庫に公開済みの議事録と資料ならびに報告動画を掲示してある。

(4) 前回委員会の振り返り

前回のCSR委員会論議内容、決定事項を議事録で確認した。

・審議事項

1. 各ブロック独自活動状況

事前に提出された活動チェックシート記載以外の独自活動について各ブロックから報告があった。

(九州南)

- ・熊本代協で合同委員会セミナーを開催。CSR委員会では国交省河川課の担当者を講師に「水害に関する情報取得について」を実施。
- ・無保険バイクチェック活動を大学で行い、大学からも感謝された(不適車両の報告を行った)。

(九州北)

- ・大分代協で防災セミナーを予定していたが台風のため中止となってしまった(そこで、ぼうさい探検隊の紹介をする予定であったが残念)。
- ・出前講座を実施して、そこでぼうさい探検隊への参加要請(マップを作るだけよりも話をしてから取り組んでもらう事で子どもたちも目を輝かせていた)。

(四国)

- ・各県で予定していた独自活動は順調に実施できているが外部団体と連携しての取組みは中止となっているので、連携の方法を考えたい。
- ・大学での無保険車チェックを高知に倣い実施を予定している。

(西中国)

- ・広島と山口の CSR 委員 LINE グループで活動を情報共有している。
- ・山口は引き続き献血活動に力を入れている。お祭り後の清掃活動を各支部で実施。

(東中国)

- ・岡山東支部で防災減災セミナーを実施(地震保険普及ノベルティを配布)。
- ・献血(8月)は昨年と同規模で実施できた。

(阪神)

- ・チェックシートは自分たちが行ってきた活動の証として大事にすることを共有している(各県委員長とは Zoom で意見交換)。
- ・兵庫代協で防災国体(内閣府主催)へ参加予定(CSR 委員長としては参加してみるべき)。

(近畿)

- ・3年ぶりに琵琶湖外来魚駆除が実施できた(滋賀 200 名参加)。
- ・奈良でも3年ぶりにクリーンキャンペーン開催予定。
- ・大和西大寺駅前が無保険車追放キャンペーン実施(道路許可も無事おりました)。

(北陸)

- ・福井代協で、条例化された自転車保険に関する公開講座開催の依頼が多く来ている。
- ・富山での無保険車追放キャンペーンは手袋をはめて、かごからティッシュをとってもらうようにした(感染症対策を十分とって街頭活動)。
- ・毎年ショッピングモールで地震保険普及活動を行っていたが、モールに保険代理店が入っている今年度は断られてしまった。場所選定に苦慮しているので、他地域の状況を聞きたい。

(東海)

- ・各県の CSR 委員長、副委員長を集めて委員会活動の説明を行った。各地区3年ぶりの活動予定である。

(東京)

- ・9月10月の清掃活動は中止若しくは縮小して開催。
- ・来年2月に献血活動予定。

(南関東)

- ・ハザードマップ、サイバーセミナーは昨年度実施したので今年度は予定なし。
- ・清掃活動の規模を拡大して実施予定。
- ・10/4 ユニバーサルマナー研修実施予定(神奈川)。

(東関東)

- ・各県とも上期はスロースタートで下期に例年の献血活動、清掃活動を予定している。
- ・防災訓練体験会(埼玉)、マイタイムライン勉強会(千葉)実施。
- ・茨城県独自の「我が家のタイムライン」を会員に周知(後ほど新聞記事を direct に連携)。

(上信越)

- ・各県の活動詳細については9/28のブロック会議で確認する。
- ・無保険車追放は大学の学生課に箱を作りティッシュを設置。

(南東北)

- ・3県合同でハザードマップ勉強会実施、その場でサイバーセキュリティの講演を受けた。

(北東北)

- ・青森、秋田で周年記念事業を企画中。

(北海道)

- ・毎年恒例のタオルボランティアに使うタオル集めを開始する。
- ・街頭キャンペーン実施は毎年ディスカウントショップ前で行っているが、短時間で通行人に迷惑を掛けない程度なので許可をもらっている。

(大城委員長より)

- ・各ブロックの活動については direct に写真やツールを添付して連携していただきたい。

2. 全国一斉 Zoom ミーティングを受けて

大城委員長が 9/6 開催 全国一斉 Zoom ミーティングの振り返りを行った。

- ・ディスカッションでは、初めて委員長になったがどのように取り組んだらいいかわからない、目に見えるツールがあると助かるといった意見が多くあった。委員長が変わったタイミングで取組みがストップしてしまうのはもったいないので委員長が変わったとしても引き続き活動できるツールを作成していきたいと思った。
- ・二人の好取組事例発表は参加者の参考になる、素晴らしい内容だった。
- ・締切間近で会ったこともあり、ぼうさい探検隊の推進がメインとなったが各地区での取組みや工夫している点について聞かせていただきたい。

(主な意見)

- ・ものすごい勉強になったが、ディスカッションの時間が足りなかった。
- ・これまで、取組んできた人はこれまでの 2 年(コロナ禍)でことごとく団体に断られているが、コロナ禍での活動方法(家族単位での実施など)が十分に伝わっていないと感じた。
- ・参加団体には独自の表彰式を実施し、子どもたちの感想を聞くようにしている。

3. ぼうさい探検隊の取組み

各委員からグループディスカッションでの主な意見の報告があった。

(北海道) Aグループ

- ・団体ではなく、個人での活動に重きを置いている代協が多かった。
- ・会議の場(委員会、支部会等)では常にぼうさい探検隊の推進を口にして意識付けしている事を伝えた。
- ・損保協会の担当者から直接ぼうさい探検隊の取組みの概要説明をしてもらっている。

(上信越) Bグループ

- ・県支部毎に目標を割り振り、支部会で説明している。

(南関東) Bグループ

- ・これまで参加していた子どもたちが卒業してしまい新たな参加者を募集しなければならなくなった。個人への推進も必要だが、団体で継続して参加できる仕組み作りも必要だと感じた。
- ・数字にこだわるのではなく、取組の意義を説明している。

(東関東) Cグループ

- ・新任の委員長が多いグループであったので、上手く説明ができない、説明するツールが欲しい、取組みスケジュール(マニュアル)が欲しいという意見があった。
- ・短期の取組みと長期の取組みに分けて活動している代協もあった。

(北陸) Dグループ

- ・事前視聴を依頼していた動画を見ているか見ていないかで温度差を感じた。
- ・多発する自然災害とコロナ禍で断られる団体が多い。
- ・県独自の表彰、参加賞を提供している。

(東海) Dグループ

- ・県内で情報提供を徹底的に行ったことにより活動が見えてきた(過去の参加団体に声掛けし

たり、提携業者にも声掛けしている)。

(南東北) E グループ

・理事、役員家族中心での応募がメインとなっているが、毎年継続的に取り組んでもらえる団体(消防団・学童・教頭会)などの仕組み作りに苦慮している。

(東中国) F グループ

・事前視聴の動画は子ども目線での取り組みが紹介されていて、感動したという意見が多かった。
・過去の災害の教訓を風化させないためにも、この活動は継続していくべき。
・継続的に取り組めるよう、学童に声掛けをしたり新聞広告に掲載したりしている(昨年広告から1件申込み有)。

(阪神) G グループ

・コロナを理由に逃げていないか。件数だけの取組みは意味がない。長年取り組んできたポリシーがある。
・何の労いもフォロー(困っていることは無い)もなく、途中経過確認の連絡は件数の事にしか聞こえない。

(九州北) H グループ

・過去2年コロナで苦労してきた経験から、徹底的に会員へアプローチしている。
・ボランティア活動を行っている市議会議員に声掛け。
・個別参加だと継続参加が困難(継続参加の場合、次にどこの地域のマップを作成するか悩む)。
・防災出前講座でぼうさい探検隊を紹介している。
・保険会社職員に依頼。
・タブレットは簡単すぎるので紙での作成に切り替えている団体もいる(取っ掛かりはタブレット)。

(九州南) I グループ

・団体を推進しているところは苦しい。
・昨年参加した親から、楽しさや意義を知り研究熱心になったとの報告があった。
・自由研究として学校からも評価された。
・低学年だけだと飽きてしまうので、4~5年生(特に女の子)がグループにいとスムーズに作成できる。

(その他)

・ぼうさい探検隊事務局にタブレットの貸し出しについて問合せしたところ「もう無理だ」との回答があったので、これからは紙ベースでの作成しかないと思う。

事務局から問い合わせたところ、確かに申込みが殺到しているが10/17、10/24の週であれば空きありとの回答(9/29時点)。ただ締切が迫ると貸し出しが間に合わないので早めのスケジュールを徹底。

・子どもの親を巻き込むべき。
・毎年表彰式に参加してきたが、表彰作品を実際に見ると感動する。
・我々委員として今後フォローを徹底していく必要がある。
・タブレットで作成したマップはコピーして保管できる(学校に掲示しているところもある)。

今年度の参加賞について多数決にて「ウェットティッシュ」とすることが決定された。

4. 防災・減災の具体的な取組み(ハザードマップ・マイタイムライン活用討議)

勉強会の実施状況を確認した。

(主な意見)

・9/9 岡山東支部で防災減災セミナーを開催、国交省河川事務所からハザードマップの説明があったが、土砂災害、津波、内水用のハザードマップがあるのを知った。県内全支部に展開し

ていきたい。

- ・10/7 北陸ブロックでマイタイムライン作成セミナーを開催予定。視聴希望者は福井県代協 HP から申し込み。
- ・防災出前講座でマイタイムライン作成を紹介。防災セミナー、防災勉強会は台風で中止。

5. 継続活動の効果的展開の討議

(大城委員長より)

- ・地震保険普及・無保険車追放キャンペーンについては、各代協に通知されており、基本街頭活動は中止としているが、各地区の状況を見て感染防止対策を取った上で行って頂いても構わない。
- ・自動車教習所、陸運局、大学、住宅展示場等にノベルティを配布する等の情宣活動を行って頂きたい。
- ・本日伝え切れなかった情報は direct に写真・ツール添付でアップしていただきたい。

(主な意見)

- ・街頭活動を行う際は、許可申請が必要(申請先は場所により異なる)なので注意。

その他・閉会

1. 情報共有

事務局より下記情報共有があった。

- ・2022 年度版「代協活動の現状と課題」が発送されるので、特に CSR 関連は目を通していただきたい。各章のポイントも記載されている。
- ・協会長ステートコメントについて報告。

2. 本日の到達点の確認、次回以降日程確認

- ・事務局より、本日の決定事項を再度確認した。

3. 横山副会長所感

- ・長時間にわたる会議、熱い討議、ご意見、発表、たいへんお疲れ様でした。委員の皆さまには日頃から多大なるご尽力を賜り、心から御礼申し上げます。
- ・日頃から direct を通じて皆さまの活動状況を共有させていただき、細やかな対応をされていることを承知している。本業で忙しい中、とくに今月は「CSR 委員会全国一斉 Zoom ミーティング」の開催もあり、委員の皆さまには準備段階から負担もあったかと思う。
- ・この全国一斉 Zoom ミーティングの後、direct において情報交換、共有がさらに活発になったという感想を抱いている。CSR 委員会の活性化は、血流がすべてであるが、この委員会ではデジタルツールを駆使して、情報がリアルタイムに把握できていると確信している。
- ・CSR 委員会の取組みを再確認すると、その行動、アクションには、
防災・減災の具体的取組の検討・推進
これは、ハザードマップ、マイタイムライン、定期的な防災訓練の情宣・普及を進めていく事業
継続活動の情宣効果向上に向けた検討
地震保険、子ども110番、無保険車追放を世間に広め、安心・安全に暮らせる社会づくりに貢献する事業
「ぼうさい探検隊」の積極推進
以上3つの柱がある。
- ・その大きな柱の一つ、「ぼうさい探検隊」については、本日の会議でも共有されている通り、各地で成果が出ており、残り1ヶ月あまりとなった提出期限に向けて、各地区、そして各代協の活動状況を日ごとに確認していくのだと思う。
- ・夏が過ぎ、台風のシーズンを迎え、自然災害への備えについて連日のように報道されており、その意識は高まってきているが、何をどうすれば良いのか・・・と思っている人も少なくないと言われている。
- ・保険会社各社は10月に火災保険を改訂するが、保険の話の前に、防災・減災の有効な情報を提供し、備える意識を高めていただく。損害が縮小されれば保険料も自ずと抑えられるとい

うのは自明の理であるが、ここ数年の激甚災害でその理想にほど遠い状況にあることはご承知の通りだと思ふ。

- ・本日の会議では、多岐にわたる事項について共有する事が出来た。特に、11月4日必着に迫ったぼうさい探検隊マップ提出期限に向けて、最終局面に来ているのではないだろうか。
- ・本日の資料にもあるように、9月26日時点で「申し込みベース」158件、昨年度は184件の提出があった。昨年度を超えるためには、あと124件の積み上げが必要である。もちろん、「ぼうさい探検隊」は単に申込数を競うものではなく、その活動の内容、そして地域社会への周知が伴うことが大切である。
- ・今回の全国一斉 Zoom ミーティングを経て、ディスカッションシートで課題を書き出して頂いているが、各ブロックとも真剣にこの事業に取り組んでおられ、その分、悩みも課題も多いものだと思う。しかし、このシートは日本代協にとって大きな財産であり、新たな発想へのきっかけになるものと大いに期待している。
- ・本日、討議頂いた内容をそれぞれの地区にしっかり伝えていただき、取組を続けていけるように皆さまのご協力を改めてお願いする。
- ・最後になるが、委員会の運営に日頃からご尽力いただいている事務局の皆さまに改めて心から感謝を申し上げ、所感に代えさせていただく。本日はお疲れ様でした。

以上

次回以降開催日

第4回 CSR 委員会 2023年1月20日(木) 13:30~17:00

第1回 CSR 委員会 2023年4月20日(木) 13:30~17:00